

小学校第6学年 特別活動(学級活動) 題材名「こんなとき、どうする？」

1 本題材で人権教育を進めるにあたって

本題材は、生活の中での対立的な問題(権利のぶつかり合い)に対して、暴力や不適切な言動に頼らず、平和的な解決策を探り、それを自分たちの生活に生かしていこうとする自主的、実践的な態度を育て、望ましい人間関係を築いていくことをねらいとしている。

望ましい人間関係の形成には、様々な人間関係を経験させることが必要であり、それを児童自らが、感じ、考え、行動することが求められる。そのためには、知識とともに、人権感覚を身につけ、相手の立場に立てるような想像力や共感的に理解する力が必要である。そして、生活の中で、お互いにとって、よりよい解決策を見いだすことのできる実践力を身に付けさせる必要がある。

生活の中での対立的な問題を前向きに捉え、双方にとってプラスとなるような解決策を見いだす学習を通して、お互いを尊重し、違いを認め合うことの大切さに気付かせ、より豊かな人間関係を築いていく力を身に付けさせたい。

2 題材の目標

日常起こりうる対立的な問題に対して、相手の立場を尊重しながら、自分の感じ方や行動の仕方について話し合い、自ら解決しようとする自主的、実践的な態度を身に付ける。

3 人権教育を通じて育てたい資質・能力

対立的な問題に対して、自分の立場にとらわれず、他者の願いや思いを感じ取り、共感し、お互いにプラスとなるような新たな解決方法を見いだすことができる。(技能的側面)

4 指導のポイント

(1) 人権感覚を育てる上で大切にしたいポイント

- 児童の人権に対する知識をよりよく自分の行動に結び付けるために、日常に起こりうる対立的な問題の事例をもとに話し合わせ、相手の立場や気持ちを認めることができるようにする。
- 学習の中にある身体的なこと等に関しては、十分配慮するとともに学級の実態に応じて適切に指導する。
- 児童同士で解決する力が身に付くよう、問題解決をするための多様なアイデアを出し合わせる。
- 話し合い活動を通して、友だちの考えのよさを見つけたり、自分の考え方との共通点や相違点を見つけたりして、共感させる。
- 日常生活の中での問題に対して、お互いの立場や願いを尊重させながら、自分たちで解決していこうとする力が身に付けられるようにする。

(2) 人権が尊重される授業づくりの視点

① 自己存在感

両者の願いや気付いたことを書く場面、解決方法を話し合う場面では、時間を確保し、問題としっかり向き合うことができるようにする。

② 共感的人間関係

話し合い活動では、自分の考えと友だちの考えを比べながら聞かせることで、友だちの考えのよさに気付かせ、多様な意見を認め合えるようにする。

③ 自己選択・決定

様々な解決方法の中から、よりよい解決方法を見だし、今後の生活に生かすように支援する。

5 学習の流れ

人権尊重の意識と実践力を養う学習活動例

目標

◇日常起こりうる対立的な問題に対して、相手の立場を尊重しながら、自分の感じ方や行動の仕方について話し合い、自ら解決しようとする自主的、実践的な態度を身に付ける。

人権教育で育てたい資質・能力

◆対立的な問題に対して、自分の立場にとらわれず、他者の願いや思いを感じ取り、共感し、お互いにプラスとなるような新たな解決方法を見いだすことができる。

主な学習活動	○指導上の工夫・留意点 評価◇◆	備考
1 めあてを確認する。	○事前にこれまでの経験を振り返らせ、友だちと対立したとき、どんな気持ちだったかを想起させておく。	
対立をしっかりと見つめ、お互いにプラスとなる解決方法を考えよう。		
2 事例について解決方法を考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 背が高く視力が弱いA君が、席替えで一番前の席を希望。背が低いB君は、A君が一番前の席になると黒板が見えづらいと言ってきた。二人では、解決できないので困っている。こんなとき、どうする？ </div> (1) 一人で考える。 (2) グループ(5~6人程度)で話し合う。	○両者の願い、解決策を、まず一人で考えさせ、ワークシートに記入させてから、話し合いをさせる。 ○グループで考えを交流させ、両者の共通する願いである「学びたい」という思いをとらえさせる。 ○様々な意見が予想されるが、できるだけ多くの解決策を考えさせる。 ○考えた解決方法をお互いが益を得るのか、一方だけが益を得るのか、という視点で考えさせる。 ○「対立は悪いこと」ではなく、自分や自分たちを見つめる機会になると、とらえさせる。	ワークシート

<p>(3) 全体でよりよい解決方法を話し合う。</p> <p>3 対立が起こったときに大切にしていきたいことは何かを話し合う。</p> <p>(1) グループで話し合う。</p> <p>(2) 全体で発表する。</p> <p>(3) 今後、学級で大切にしていきたいことを確かめる。</p> <p>【学級で大切にしていきたいこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の気持ちを伝える。 ・相手の気持ちや考えを聞く。 ・一緒に考える。 ・みんなと考える。 ・お互いにプラスとなる解決策を見つける。等 	<p>○両者の願いと自分やみんなの願いを重ね合わせ、二人だけの問題ではないということをとらえさせる。</p> <p>○自分の考えと友だちの考えを比べながら聞かせ、友だちの考えのよさに気付かせる。</p> <p>○出てきた解決方法をみんなで話し合い、よりよい解決策を探るようにさせる。</p> <p>○対立が起こったとき、解決のために大切にしていきたいことを付箋を使って話し合わせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大切なこと→ピンク色 ・してはいけないこと→青色 <p>○意見を発表する際は、意見の根拠となる自分の経験や考え、理由等を併せて発表させ、その児童の願いや思いを共有させていく。</p> <p>○対立を肯定的にとらえさせたいことで、今後、学級で大切にしていきたいことを共有させる。</p> <p>◆自分の立場にとらわれず、他者の願いや思いを感じ取り、共感し、お互いにプラスとなるような新たな解決方法を見いだしている。</p>	<p>ワークシート</p> <p>付箋 広用紙 (グループ分)</p>
<p>4 本時の学習を振り返る。</p> <p>(1) ワークシートに、今後の生活に生かそうと思うことをまとめる。</p> <p>(2) まとめをする。</p>	<p>○対立は、当事者同士の問題ではなく、みんなの学びの機会であるととらえさせる。</p> <p>○今後の生活の中で、課題解決の対処法を生かそうという意識付けを図る。</p> <p>◇対立をしっかり見つめ、相手の立場や感じ方を尊重し、話し合いを通して友だちと一緒に解決しようとしている。</p> <p>○「学級で大切にしていきたいこと」を、日常の中で行動に移していくことを確認し、一人一人の思いを、感じ取り、支え合っていく学級を作ろうとする意欲をもたせる。</p>	<p>ワークシート</p>

6 資料

《参考》OSAKA 人権教育 ABC—人権学習プログラム—

「こんなとき、どうする？」

組 番 氏名 ()

『事例』

背が高くて視力が弱いA君が、席替えで一番前の席を希望。背が低いB君は、A君が一番前の席になると黒板が見えづらいついてきた。二人では、解決できないので困っている。こんなとき、どうする？



1 二人の願いは何でしょうか？

○A君の願い

○B君の願い

2 二人の共通する願いは何でしょうか？

3 どんな方法がよりよい解決方法になるでしょうか？自分の考えをたくさん書きましょう。

言葉や図、絵を使って考えてみたらどうかな？



4 今日の学習で気付いたことや大切だと思うこと、今後の生活に生かそうと思ったことを書きましょう。



二人の対立を考えたことは、とても意義があったと思う。

二人だけの問題ではなくて、みんなの問題だね。



言えないけど、本当は困っている人はいないのかなあ？



A large empty rectangular box for writing.